

第 25 期・第 3 回 土木工学・建築学委員会 感染症拡大に学ぶ建築・地域・都市のあり方
分科会 議事要旨

開催日時 2021 年 8 月 3 日 (火) 10:00-12:00

開催場所 遠隔会議

出席者 赤松佳珠子, 伊香賀俊治, 伊藤香織, 大岡龍三, 小野悠, 斎尾直子, 齊藤大樹, 佐々木葉, 定行まり子, 高橋良和, 竹内徹, 竹脇出, 前川宏一, 増田聡, 南一誠, 三輪律江, 望月常好, 山本佳世子

欠席者 田村和夫, 緑川光正, 渡邊朗子

配付資料

資料 0 議事次第

資料 1 トピック 1 サブ WG 報告資料

資料 2 トピック 2+5 サブ WG 報告資料

資料 3 トピック 3 サブ WG 報告資料

資料 4 トピック 4 サブ WG 報告資料

資料 5 トピック 6 サブ WG 報告資料

資料 6 斎尾委員話題提供資料「キャンパス計画都都市再生の視点 及び「農村計画」からの視点」

議題等

1. 各 SWG の活動報告

(1) トピック 1SWG 感染症が日本と世界に与えた影響 (土木建築分野から見た総括)

竹脇委員から, 他国研究者へのアンケート調査について, 約半数の 39 名から回答を得ているとの報告及び回答に基づく傾向分析の途中段階報告があった. アンケートのデータについて, 本分科会委員限定で共有することが了承された. 委員各自がそれぞれの観点より分析を試みることとなった.

(2) トピック 2+5SWG 新しい生活、働き方、オフィス計画 (郊外から都心に通勤する方法の見直し) 及び人口減少と国土利用 (大都市と地域のありかた、農地と森林のありかた)

斎尾委員及び伊藤委員から, 合同 SWG のミーティングにおいて, 分科会のアウトプット, 目標やテーマの位置付け, SWG での作業の進め方等について議論がなされたとの報告があった.

(3) トピック 3SWG 地球に優しいこれからの社会、産業、交通 (コロナが教えてくれた環境問題の解決)

伊香賀委員から、SWG のミーティングにおいて、関連する他の分科会や日本建築学会の特別調査委員会等との関係、分科会の成果イメージ、海外の動向などの議論がなされたとの報告があった。竹内委員長より 2020 年の緊急事態宣言時に我が国の CO2 発生量がどの程度影響を受けたのかについて、白書等より取りまとめいただくよう SWG に依頼があった。

(4) トピック 4 情報技術 (IT, AI) の利用、整備 (応用の可能性と限界、安全管理と個人情報)

山本委員から、これまでに 3 回開催された SWG について報告があり、産業立地の変化の方向や技術が社会制度として受け入れられるための科学技術教育の必要性等について議論された。竹内委員長より感染症対策、災害対策に共通する個人への情報提供と個人情報の収集について、技術上可能な段階ごとの情報項目およびそれが我が国で活用できない社会的な制限 (法制度等) について整理いただくよう SWG に依頼があった。

(5) トピック 6 感染症下の防災・避難・復興 (感染症対策と防災・避難をどう両立させるか)

新型コロナウイルス感染症の状況下における災害避難時に関する情報について、内閣府及び米国 FEMA (Federal Emergency Management Agency) の対応状況の報告があった。竹内委員長より、感染症下の避難にトピックを限定せず、災害と環境のトレードオフについても踏み込んだ議論をしていただくよう SWG に依頼があった。

2. 齋尾委員からの話題提供

齋尾委員から、「キャンパス計画と都市再生の視点」として、日本建築学会のキャンパス・リビングラボトリ小委員会によるアンケート調査結果や米国ボストン市の事例調査についての話題提供、及び、「農村計画」からの視点」として、農村計画学会新型コロナウイルスタスクフォース主催シンポジウムの内容についての話題提供が行われた。竹内委員長より SWG1 のアンケートの分析より、2020 年度の感染症下での各国大学の授業の状況、今後の見通しについて整理いただくよう依頼があった。

3. その他

次回第 4 回分科会は 10 月 14 日(木)10:00~12:00 (オンライン) とする。次回分科会では、各 SWG 幹事の報告の後、各委員が今までの議論を反映し、それぞれ 5 分程度個人的意見や今後の分科会活動 (提言の是非等) について述べる時間を設けることが確認された。

以上